



公正な価格設定 に関する方針

背景と目的：

ICCO（国際ココア機関）によると、2021年から2022年のシーズン中に推定490万トンのカカオが生産されました。消費国、特にヨーロッパからの強い需要に牽引され、過去40年間に生産量が増加しています。

世界の生産量の大部分はコートジボワールとガーナで生産されており、60%を占めています。また、2022年のカカオバロメーターによると、カカオの92%が大手6社を経由して取引されているのに対し、ヴァローナが独自の供給ルートで取扱っているカカオは世界生産量の0.15%にすぎません。

カカオ市場は、政治、気象現象、カカオ生産国の過剰生産または過小生産、投機、新たな消費者の需要などによって価格が変動しやすいため不安定です。

大きく分けると、カカオ産業（カカオ豆とカカオパウダー、カカオリカー、カカオバターを含む）は3つの部分から構成されています。

- ・ 川上 Upstream：カカオの木の植林と栽培、カカオ豆の収穫、発酵と乾燥。そのほとんどは熱帯地方で行われています。カカオバロメーター2022では、主要なカカオ生産国の平均農場規模を2〜5ヘクタールと推定しています。
- ・ 一次川下 Primary downstream：チョコレート産業・業界で使用される生豆の加工（洗浄、乾燥、焙煎、粉砕除去、粉砕）。
- ・ 二次川下 Secondary downstream：チョコレートおよびその他の副産物の生産。

ヴァローナは川下の事業者であり、カカオの大部分（94%）を協同組合や協会にグループ分けされた生産者から購入しています。

世界では、川上の部門で、450万人の家族経営生産者と1,400万人の農村労働者を含む、世界中で4,000万人から5,000万人の人々の生計に貢献しています。

ヴァローナが実施しているような長期契約がなければ、世界市場は少数の事業者によって支配され、小規模生産者が価格に影響を与えることはできません。世界のカカオ価格の変動により、これらの小規模生産者は安定した収入を得ることができず、より良い農業慣行に投資することができなくなっています。

その結果、2020/21年の収穫以来、生産者にカカオ豆の最低価格を保証するため、コートジボワール政府とガーナ政府によって価格管理メカニズムが導入されました。これらのメカニズムには、ヴァローナを含むすべてのカカオ購入者が支払うトン当たり400ドルの生活所得差額（LID）が含まれます。

政府の努力にもかかわらず、価格を規制することは依然として困難であり、小規模生産者に十分な収入が常に保証されているわけではありません。

ヴァローナでは、これらの最低価格では一定の生活水準を保証するのに十分ではないことを認識しており、それに応じて行動しています。

包括的な取り組み：

IFCD への署名 – フランスでの持続可能なカカオのためイニシアチブ

ヴァローナは、シンジカ・デュ・ショコラの会員企業 64 社、フランス政府、NGO、カカオ・チョコレート産業研究機関を取りまとめる持続可能なカカオのためのフランス・イニシアチブの一員です。この取り組みは、Beyond Chocolate (ベルギー)、Gisco (ドイツ)、Swisco (スイス)、Disco (オランダ) など、ヨーロッパ周辺で立ち上げられた他の企業と歩調を合わせています。

私たちは、カカオ産業が直面している複雑かつ根深い社会、経済、環境の課題を認識しているため、フランスのカカオ産業のすべての人々と協力して、私たちの行動をより効果的なものにしていきたいと考えています。このイニシアチブの署名者は、期限を設定した 3 つの具体的な目標に共同で取り組んでいます。

1. カカオ生産者の収入を改善し、2030 年までに彼らが適切な生活を享受できるようにする。
2. 2025 年までに森林伐採地域からのカカオの調達を中止する。
3. 2025 年までにフランスのサプライチェーンにおける児童労働に対する対策を加速する。

VALRHONA ヴァローナのコミットメントと追加アクション：

1. 適正な収入を得ることができる価格

ヴァローナは、すべてのサプライヤーおよびパートナーとの購入契約において 100% 公正な価格を支払うという方針を追求し、強化していきます。この価格は生産者の**適正な生活収入**となる価格です。生活収入とは、「特定の場所に居住する世帯が、その世帯の構成員全員に適正な生活水準を確保するために必要な年収」です。適正な生活水準の構成要素には、食料、水、住宅、教育、医療、交通、衣類、その他の基本的なニーズが含まれます*。

※出典 Cocoa Barometer-2022.pdf (cocoabarometer.org)

2. 国際フェアトレード認証

2030 年までに、公正な価格を保証する国際的に認定されたフェアトレード基準（フェアトレード、フェア・フォー・ライフ、SPP など）を満たすよう、パートナー・サプライヤーとの購買契約を進めていく予定です。フェアトレード認証は、製品または組織がフェアトレード基準に準拠していることを独立機関が検証するプロセスです。これらの基準は、生産者が公平に扱われ、製品に公正な価格が得られるようにすることを目的としています。認証は、生産者の労働条件、持続可能な農業慣行、社会的および環境的基準などのさまざまな要素をカバーしています。

2030年の主要業績指標：

1. **カカオ豆の購入**は、100%が、フェアトレード、フェアフォーライフ、SPP (Symbole des Producteurs Paysans) などの国際的に認められたフェアトレード基準に準拠していることを保証します。
2. **カカオバターとカカオパウダーの購入**は、100%が、公正取引基準（例：フェアトレード）または持続可能性ラベル（例：レインフォレスト アライアンス）に準拠していることを保証します。
3. **チョコレートの購入**は、100%が、フェアトレード基準（例：フェアトレード）または持続可能性ラベル（例：レインフォレスト）に準拠していることを保証します。

これまでの進捗状況：

ガーナとコートジボワール

コートジボワールでは過去 5 年間、ヴァローナは国が保証する最低価格より平均 34% 高い価格でカカオを購入してきました。また、品質に基づいて生産者にプレミアムを支払っています。独立した第三者機関 (JLB Expertise) が、このプレミアムの支払いが正しく割り当てられていることを確認しています。

ガーナでは、生産者が現地のインフレに対処できるよう、2022 年にバグあたりのプレミアムが 40% 引き上げられました。

フェアトレード認証カカオの購入

2024 年までに、コートジボワール、ドミニカ共和国、ベネズエラのパートナーから購入されるカカオ豆の 100% がフェアトレード認証を受ける予定です。これらの豆は、ヴァローナのカカオ総供給量の 30% を占めています。